



図1 これまでの主な調査 (遺構の性格究明のための確認調査)



図2 本丸大広間跡遺構確認調査
礎石跡、雨落ち溝跡、整地層などを確認した。



図3 本丸大広間跡から出土とした金銅飾金具
菊文、唐草文、牡丹文などが表されている。



図4 巽檣跡遺構確認調査
南東部分は崩落しているが、残存規模は、檣台跡は南北約10.2m、付檣台は南北約7.8mである。



図5 「奥州仙台城絵図」に描かれた巽檣
正保2年(1645) 仙台市博物館所蔵



図6 埋没堀跡 (巽門馬出堀?) 遺構確認調査
堀跡の西端の幅は、約35~40mと確認された。



図7 広瀬川護岸石垣測量調査
平成15~17・21年度に石垣の測量調査を行った。